



### 三田 敏和 議員

## 森林の活用をどのように進める

永野産業振興課長 森林の魅力を観光に繋げたい

**問** 町の森林構成は、永野産業振興課長 町の面積に対し、森林の面積は62%である。

森林面積 (ha)	
町全体	6240ha
森林	3873ha (62.1%)
国国有林	305ha
民有林	3570ha
公有林	684ha
私有林	2886ha

**問** 観光資源となりうる森林面積は、永野産業振興課長 3873ha 全て観光資源になりうる。

**問** 町の森林で他に誇れるものは、永野産業振興課長 平成8年12月に旧大平村において「大平村悠久の森条例」を制定、東上と原井に「悠久の森」を指定し、現在まで継承している。また長年にわたり県営林看守人を町の町有林看守人として、森林を育て守られている方がいる。現在、年2回ボランティアを町内に招き、下刈り、枝打ち、間伐などの指導を行っており、他に誇れると考える。

**問** 山の魅力を引き出す資源、人材がある。どのように感じているか、永野産業振興課長 近年では樹の

持つ癒し効果は「森林セラピー」など医学的な根拠に裏付けられた森林浴効果が見直されている。また、健康維持、増進、疾病治療効果にも活用できると言われており、魅力を感じている。

**問** 山の魅力を伝えるとき、今後開設するスマートーCと繋げることを考えるべきでは、坪根町長 森林の持つ魅力は十分理解している。まず、PA周辺に森林も含めた一つのモデル地区を作り、次に森林へと繋げたい。

**問** 魅力ある森林を総合計画にある観光面も含め活かす手段として、森林セラピー構想がある。地域の方をボランティアガイドとして活躍の場もできるのでは、取り組んでいかがか、永野産業振興課長 森林セラピーは観光資源を点ではなく線で結ぶことで、有田の民泊、西友枝「ゆいきらら」、東上のカジカガエル・ホタルなどを活かせる。森の持つ機能と連携させ、森林セラピーなど、観光拠点としての施策を考えたい。セラピーについては庁内で十分検討したい。

**問** 町には国指定の史跡が4つあるが文化財の整備状況は、尾崎教務課長 穴ヶ葉山古墳は整備済み、唐原の唐原山城はほとんどの土地が民有地で、史跡の保全

を図るためにも今後、用地を買い上げ、整備計画をたてて進めたい。

**問** 整備保存するにはどれくらい期間が必要か、尾崎教務課長 数年かかると考えている。

**問** 点を線で繋ぎ、観光として開発するためにも観光係が必要では、坪根企画情報課長 まだ磨かれていない多くの観光資源を含め、62%の森林を有する特徴を生かし、里山の取組みを今後文化財や森林へ広げていきたい。



**問** 捕獲した鹿・猪を広域で処理施設を作り、商品化しては、永野産業振興課長 処理施設の必要性は十分認識している。現在、豊前市・築上町と建設に向けた担当者レベルでの協議を進めている。建設場所も含め庁内でも十分検討する。

平成25年度鳥獣被害額(万円)

	猪	鹿	鳥	合計
上毛町	970	440	790	2200
築上町	280	140	650	1070
豊前市	180	1680	60	1920
吉富町	0	0	0	0

**問** 昨年度の鳥獣被害の状況は、永野産業振興課長 被害状況は近隣自治体も含め表の通り。町内の捕獲は鹿242頭、猪84頭。

## 鳥獣処理施設を検討しないか



### 安元 慶彦 議員

## 指定管理や民間移譲による効果は

各担当課長 さまざまな財政効果などがある

**問** 指定管理者制度の導入や施設の民間移譲による効果は、川口総務課長 「ゆいきらら」については財源節約効果として360万円が見込まれている。また、西友枝地域の活性化と地域資源を生かした町内外の交流のできる施設として活用効果がでている。

**問** 坪根企画情報課長 大池公園有料施設、道の駅しんよしとみ、湯ノ迫温泉大平楽、手作り村館を指定管理にしております4施設合わせて、約670万円の費用負担であり、大きな財政効果があると考えます。末松長寿福祉課長 平成22年度以前は直営診療所に毎年1600万円から2300万円程度の負担をしていたが、移譲後の現在はなくなっている。また、たいへい苑、さざんか荘については施設の修繕などの負担がなくなり50床から80床に増床され待機者の削減につながったことが財政面とあわせて大きな効果となっている。

**問** 岡崎子ども未来課長 新吉富保育所の民営化により1900万円の削減効果があり、体操教育などの新たな保育サービスを展開し、保護者に好評を得ている。

**問** 尾崎教務課長 げんきの杜については、社会福祉協議会に委託しており400万円の節約となっている。多目的運動広場と健康増進施設については200万円の節減が見込まれている。

**問** 指定管理や民間移譲による地方交付税の基準財政需要額算定の影響はどうか、川口総務課長 基本的にはほとんど影響はないと思うが、新吉富保育所分については影響があると思われる。

**問** 合併10年後の地方交付税の見直しは、坪根町長 合併算定替制度により平成18年から27年度までの10年間については一本算定により平均値で4億2000万円の増額になっており、平成25年度の普通交付税算定と条件が変わらないと仮定して試算した場合は、段階的に減額になり、平成32年度が15年目になるので合併算定替により交付税額は18億1000万円になると見込んでいる。

**問** 今後の考えは、坪根町長 厳しい財政の中で合併や指定管理制度に移行してきたとされている。これはゴールではなく、ここからがスタートであると考えている。PAの整備や東高跡地に良質な土地整備を行って人口増につなげたいと考えている。



## 農地中間管理機構の進め方は

**問** この事業の周知はどうか、永野産業振興課長 農地中間管理機構は本年4月に設置されたもので、現在パンフレットを農事組合長の協力で全ての農家に配付している。

**問** 機構の基準に適合しない圃場とは具体的にどのようなものか、永野産業振興課長 耕作放棄地で作付け不可能な土地について機構は借り受けられないということである。

**問** 既に利用権を設定している人がこの制度に乗り換える、いわゆる貸し剥がしの現象が起るのでは、永野産業振興課長 利用権を設定している人は耕作をしていないため補助金の交付対象者にならない。所有者にメリットがないため貸し剥がしなどはおこらないと思

**問** 未整備田や形状が悪い圃場などは適合しないのか、永野産業振興課長 未整備田などで適合しないということはないと思っっている。あくまでもすぐ圃場として使えないようなものについて機構は受け取らない。

**問** 課題に人材がある。商品開発も含め、企業と連携すべきでは、永野産業振興課長 企業との連携は必要と感じる。課題などをふまえて検討の余地はあると考える。